



福島医大病院ニュースレター

編集・発行/附属病院患者サービス向上委員会

第4号

発行日 平成20年5月30日

〒960-1295 福島市光が丘1番地/TEL (024) 547-1111(代) ホームページ <http://www.fmu.ac.jp/byoin/index.html>

病院長就任あいさつ



病院長 **竹之下 誠一**

平成20年4月1日付けで、附属病院長を拝命しました。この法人化前後の4年間、副院長として丹羽先生・菊地先生のもとで、病院運営に携わってまいりました。「健全な経営と高度先進医療の充実」という、基本路線を踏襲し、大学病院のもつ、診療・研究・教育という機能を三位一体として進めます。

具体的には、「7対1看護体制の完全実施」、待ち時間短縮などのための「診療予約の機能的改善」、「よりよい新医療情報システムの構築」など、十数回の短期的、中期的課題をすでに整理しました。これらの課題の解決に向けて粛々と努力をすることは、とりもなおさず、患者さん、教職員、学生など、病院を構成するすべての人たちが快適に過ごせるシステムの構築や環境の整備の実現につながります。さらに、進捗状況の公開とその評価を平行して進めるために、病院全体を挙げて、意思決定、実効機能の迅速化を図ります。病院の現場のニーズに応えることは、医学・医療の発展につながる基本的な必須事項ですので、重点的に取り組みます。よろしくお願ひします。

患者さんに優しい治療を —肺がんに対する内視鏡手術—

呼吸器外科 **鈴木 弘行**

「肺癌の手術」についてお尋ねすると、多くは肋骨を切って胸を大きく切り開く大手術のイメージが多いようです。古くはそう

でしたが、現在は決してそうではありません。

当院呼吸器外科では2005年より早期肺癌（肺癌手術の約半数）の患者さんに対して内視鏡手術を行っております。従来は20cm程度の創で肋骨を1-2本切離するというのが一般的な方法でしたが内視鏡手術により、3カ所程度の小さな創で、肋骨は切らずに手術が行えるようになりました。手術時間も短く（2時間程度です）、出血も少なく（ほとんどは50ml以下です）、何よりも患者さんの痛みが少ないという利点があり、患者さんの早期社会復帰に大きく役立っています（術後の入院期間7日程度です）。最近よく耳にする「患者さんに優しい治療」の代表がこの内視鏡手術ですが、優しいだけではなく「確実な治療」つまり治療成績も従来と比較して同等かそれ以上である点がこの治療の特徴です。

唯一の欠点は手術操作が煩雑でやや高度な技術を要するという点ですが、当院では専門医3名を含む充実したスタッフで治療にあたり、これまで手術に関連する重篤な合併症は全くありません。

今後も患者さんに優しい、そして確実な治療を心がけてまいります。今後は患者さんに優しい、そして確実な治療を心がけてまいります。今後は患者さんに優しい、そして確実な治療を心がけてまいります。今後は患者さんに優しい、そして確実な治療を心がけてまいります。

第4号のなかみ

- 2ページ... ○「ペインクリニックをご存知ですか？」
○病気のみめ知識「食中毒について」
○駐車場の拡張と
教職員駐車場の一部有料化について
- 3ページ... ○はじめまして！新規採用になりました
○臨床工学センター開設と
臨床工学技士について
○「きいてください 院長さん」投書箱から
- 4ページ... ○栄養士からアドバイス
—メタボリックシンドローム予防食—
○入院中の学習も大丈夫！「須賀川看護学校医大分校」です
○病院ボランティア「けやきの会」りれー通信 2

清潔と快適をクリエイトする。



病衣・付添寝具

〔ご利用・お問合わせ先〕

株式会社 同仁社
医大リネン室

電話 024-547-1111
内線 3081

マチのほっとステーション

LAWSON

ローソン福島県立医科大学附属病院店(エレベーターホール隣)
ローソン福島県立医科大学店(福利厚生棟内)

ペインクリニックをご存知ですか？

麻酔科学講座 助手 中川 雅之

皆さん、ペインクリニックをご存知ですか？ ペインクリニックは麻酔科医が行っており、原因にかかわらずいろいろな痛みで困っている方を対象とした外来です。麻酔科は手術の全身麻酔というイメージが強いかと思いますが、手術の痛みを抑えるだけでなく、日常生活をよりよくすごすための痛みに対する治療も行っているのです。治療は神経ブロックという特殊な注射が中心となりますが、その他に内服薬の調整や簡単な手術なども行っています。注射は痛いと思われがちですが、熟練した医師が行えば、きっと『思ったほど痛くない』という感想を持たれるでしょう。

痛みは客観的に評価することが大変難しく、時に患者さんの訴える痛みを理解しきれないこともあります。痛みを専門としてい

るわれわれでも原因の分からない痛みは数多く存在します。しかし、たとえ原因が分からなくても神経ブロックや内服薬を調整することで痛みを軽減させられることがあります。「痛み」で困っている患者さんは一度ペインクリニック（麻酔・疼痛緩和科外来）を受診してはいかがでしょうか。



病気のまめ知識

「食中毒について」

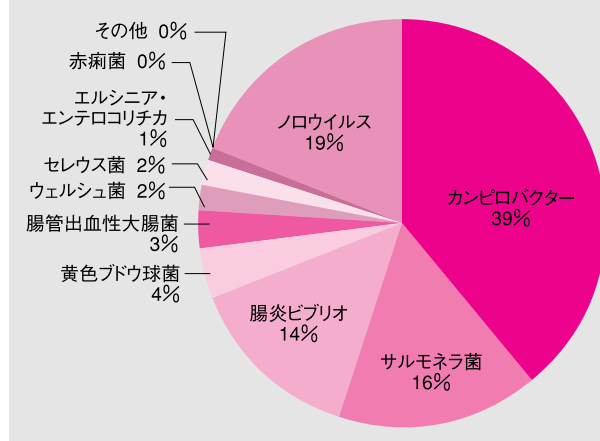
感染制御・臨床検査医学講座 金光 敬二

食中毒とは、サルモネラなどの細菌、フグやキノコなどの自然毒、農薬などの化学物質を含む飲食物を摂取することによって起こる健康被害をいいます。普通は、嘔気、嘔吐、腹痛、下痢などの急性の胃腸症状をもって発症します。ここでは、細菌に関連する食中毒についてお話します。

それでは「食中毒の原因」にはどんな細菌があるでしょう。図は、食中毒の原因菌を円グラフにまとめたものです。1番多いのがカンピロバクター、2番目がノロウイルス、3番目がサルモネラ、4番目が腸炎ビブリオで、これらを合わせると全体の90%になります。簡単に「特徴」だけ述べます。カンピロバクターによる食中毒は通年性に認められ、牛肉、豚肉、鶏肉などの不十分な加熱によるものが多くみられます。ノロウイルスは、冬季に多く、カキなどの二枚貝を介した食中毒を起こすほかヒトヒト感染も起こし院内感染としても注意が必要なウイルスです。サルモネラによる食中毒は、鶏卵、鶏肉あるいはタマゴが原料のシュークリームなどを介した食中毒が報告されています。腸炎ビブリオは、海水の温度が20度を越すと増殖し、魚介類

を介した食中毒の原因となります。「食中毒にならないようにするには」手をよく洗い、食品をすぐに食べることが重要です。食品を保存するときにはすぐに冷蔵庫に入れてください。

原因菌別食中毒件数(平成16年)



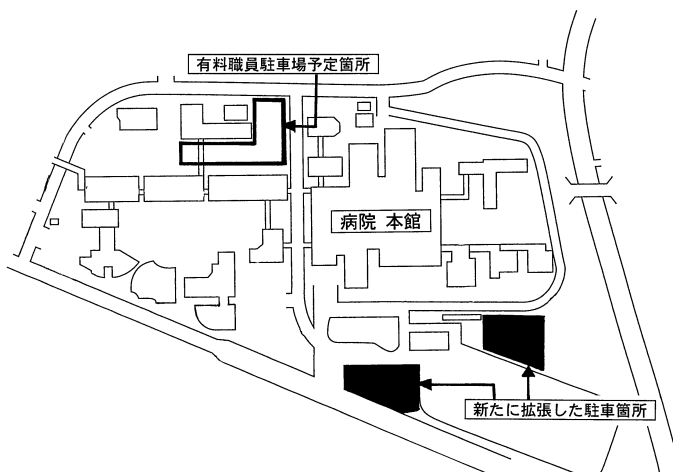
駐車場の拡張と教職員駐車場の一部有料化について

医科大学が移転新築されて20年経過し、この間マイカー利用者の急激な増加に伴い、当初想定した駐車場の規模では対応できず外来駐車場が満車となり、来院者の方々にご不便をかけておりました。このため駐車場拡張工事を平成19年度に行い、外来駐車場を131台分増設し、846台としました。

今のところ外来駐車場については満車になることもなく、整備した効果が現れているものと考えております。

なお、病院棟西側の医学部教職員指定駐車場につきましては、7月1日より有料化を予定しております。

この駐車場は、現在でも指定車両以外の駐車はお断りしておりますが、7月からは専用ゲートが設置され、曜日を問わず24時間、契約車両以外は使用できませんので、病院を利用する一般の方々の御理解と御協力を改めてお願いします。



はじめまして! 新規採用になりました

★今年の新規採用者のうち6名に抱負を聞きました



後期研修医 **石田 大知**

私は、当院の歯科・口腔外科で初期研修を行い、諸先輩方の熱心なご指導、各科の垣根の無い医療体制や当院の充実した医療設備等に魅力を感じ、引き続き当院での後期研修を選択致しました。岩手出身ですが、福島のご紹介ややすさもまた、当院を選択した理由の一つでもあります。

患者さん中心の医療を提供するため、より一層精進して参ります。これからどうぞ宜しくお願い致します。



看護師 **服部 由里恵**

憧れの白衣を身に纏い、緊張と不安の中、先輩の指導の元で新生児看護を行っています。

小さな命を目の前にして思うことは、第一に安全なケアを提供したいということです。そのために児が発するサインに気づく感性を磨き、的確な判断でケアができるように自己研鑽していきたいと思っています。また、専門職業人としてのモラルをもち、誰からも信頼される看護師になれるよう努力していきたいと思っています。よろしくお願ひいたします。



放射線技師 **濱尾 直実**

仕事を始めてから約2ヶ月が経とうとしていますが、日々、新鮮な気持ちで仕事に励んでおります。現在は7月からの夜勤に向けての研修期間でもあることから、先輩方から優しく指導をいただいております。教えていただいたことをしっかり消化して、少しでも多くの技術を身につけ、1日でも早く一人前になり、患者さんに質の良い医療を提供していけるような診療放射線技師になりたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



放射線技師 **金澤 崇史**

白衣に袖を通し1ヶ月程経ちましたが、相変わらず先輩方の仕事ぶりには目を見張るものがあります。周囲と連携を取り、スムーズに仕事をこなすだけでなく、患者さんの状態に対して常に気を配っている姿はさすがとしか言いようがありません。自分はまだまだ未熟者ですが、早く仕事を覚え、先輩方のように技術面だけでなく接遇面でも一人前の放射線技師になれるよう、日々一歩ずつ前進していきたいです。



栄養士 **田口 遼**

初めまして、5月1日から栄養士として勤務している田口遼と申します。故郷仙台での十余年の学生生活を終え、新天地福島での新社会人生活に悪戦苦闘しております。大学で栄養学を修めたとは言えども、まだまだ右も左もわからない新参者。着慣れぬ白衣に袖を通して背筋を伸ばしても、何となく頼りない雰囲気です。1日も早く白衣が似合う立派な栄養士となるように精一杯頑張っておりますので、どうかよろしくお願い致します。



医療連携・相談室 主事 **菅原 順子**

医療相談室に配属され1ヶ月が経ちました。相談室は患者さんやそのご家族からの医療制度などについての相談対応が主な業務ですが、医療に対する不安を少しでも軽減できるよう、それぞれの患者さんにあつた、丁寧で、分かりやすく、正確な対応を心がけています。また、他部署との連携や最新の医療制度の知識も必要となることから、日々勉強をしながら業務を進めています。患者さんやそのご家族、そして県民の皆さんが安心して医療を受けられるよう、附属病院の一員として、自分も成長しながら力を尽くしていきたいと思っています。

臨床工学センター開設と臨床工学技士について

高度な医療機器を安全に操作するため専門的な人材が必要となり、昭和63年「臨床工学技士法」が医療国家資格として施行されました。一般的な医療機器はもちろん、生命維持管理装置と呼ばれる人工心肺装置、人工呼吸装置、血液浄化装置、高気圧酸素治療装置などの医療機器操作から保守、点検までを行う役割を担っています。

平成20年4月1日、臨床工学センターが開設されました。センターは①院内のすべての医療機器を一括管理運用し、医療機器に関する情報セン

ターの機能を備える。②医療機器を使用する者と医療機器を提供する者との連携を改善促進し、機器の管理運用、マネージメントと技術支援等を行い、病院資産の効率的な運用を推進する。③医療機器を製造するメーカーと、実際医療現場で使用する医療スタッフの声を参考に、よりよい安全な医療機器の提供に貢献するなどを業務としています。患者さんへの質の高い安全な医療を提供する一翼を担いたいと臨床工学技士一同は、日夜業務に励んでおります。（臨床工学センター 猪狩次雄）

「きいてください 院長さん」 投書箱から



最近の改善事例を紹介させていただきます。

附属病院1階の授乳室を「清潔感のある部屋にしてほしい」というご意見が寄せられました。病院内のスペースが不足しているため、抜本的な改善にはなっておりませんが、少しでも快適な空間になるよう授乳用のイスとテーブルを交換いたしました。

「玄関前のプランターに季節の花がなくなり淋しい」という内容の投書が冬季間に多く寄せられました。冬の間は植栽ができませんので、3月にパンジーの植え込みを行いました。これからも定期的に季節の花を植え、心が休まる空間を作っていきたいと思っています。

また、「病院売店で医療、介護関係の品揃えを充実してほしい」という要望が多く寄せられていました。ローソンと協議したところ、原則として毎月第1日曜日に、特売コーナーで医療、介護関係用品の販売、相談を行うことになりました。詳しい日程はローソン店頭でお尋ねください。

これからも、サービス向上に努力してまいりますので、今後とも忌憚のないご意見をお寄せくださいますようお願いいたします。



栄養士からアドバイス — メタボリックシンドローム予防食 —

最近「メタボ」の愛称で何かと話題になっているメタボリックシンドローム。特に中高年の方々には多く見うけられます。厚生労働省が平成18年に行った国民健康栄養調査の結果では、40歳から74歳までの男性の2人に1人、女性の5人に1人はメタボリックシンドローム該当者もしくはその予備群であると言われています。

かけがえのないあなたの生命を守るため、メタボリックシンドロームは何とか避けたいものです。そのためには、バランスのとれた食事と適度な運動が欠かせません。

バランスのとれた食事の目安として「まごわやさしい」という言葉があります。「ま」は豆類、「ご」はゴマ、「わ」はわかめ（海草類）、「や」は野菜、「さ」は魚、「し」はシイタケ（キノコ類）、「い」は芋類をそれぞれ表します。これらの日本人にはおなじみの「まごわやさしい」食材をバランスよく食べることで、メタボリックシンドロームをはじめとする生活習慣病の予防改善に役立ちます。



入院中の学習も大丈夫！「須賀川養護学校医大分校」です



医大病院の中に、「学校」があることをご存知でしょうか。

病院棟の3階に「須賀川養護学校医大分校」があります。ここは、病気治療のため長期の入院加療が必要な

お子さんや、病弱のため学習や生活に特別な配慮が必要なお子さんのための特別支援学校です。小学部、中学部のお子さんが学んでいます。

治療が進み状態が安定したお子さんで、2週間以上学習が続けられる場合、登校して教室で授業を受けることができます。

また、登校は難しいけれども学習が可能なときは、ベッドサイドでの個別学習も行っています。もちろん主治医の先生や看護師さんと連携して指導を進めています。

闘病生活の中でも学ぶ楽しさを味わい、友達や先生方と触れ合っ学校の雰囲気を感じることは、心理面の安定を増し病気に向き合う気持ちを強め、回復への助けになると考えられています。

入院が短期間のお子さんに対する学習支援や就学前のお子さんへの支援「きららタイム」も実施しています。

また、学習等の悩みや不登校など特別支援教育に関する相談支援も行っていますので、お気軽にご連絡ください。

(直通電話 024-548-2541・病院内線 4130)

病院ボランティア「けやきの会」 りれー通信 2

「気持ちよい活動」 佐藤 和子

「おはようございます」と、いう挨拶からボランティア活動が始まります。「予約があるのですが」と、戸惑っている様子の患者さんに、案内をするボランティア・スタッフが声をかける。病院の玄関ロビーのあわただしい朝の風景です。

私とボランティアの係わりは、高校生時代に日本赤十字社の奉仕活動に参加したことが始まりで、平成11年2月9日に医大病院ボランティアとして登録し、活動を開始しました。

私は、研修での指導に沿って、患者さんが少しでも良い状態

のもとで治療が出来るように、細く、長く継続性を持って活動することを心構えとしていました。ところが、私自身が患者となってしまい、治療の為、1年8ヶ月、活動を休みました。今までに経験の無い意気消沈の日々を送りましたが、その時、ひとのやさしさに大きく支えられ、前向きに病気を治療する勇気を得る確かな手ごたえを感じたのです。

活動再開のいま、多くのことを学びつつ、患者さんの立場に立って、できる範囲の中で気持ちよく活動していきたいと思っています。



こころときめいて、くらしかがやいて。

東邦銀行

ご利用・お問い合わせは 福島医大病院支店

窓口営業時間：平日午前9時から午後3時

電話 024-548-5331 (受付時間：平日午前9時から午後5時)

スターバックスコーヒー福島県立医科大学附属病院店

営業時間 平日 7時～20時
土日祝 9時～19時

アメリカシアトル生まれのスペシャルティコーヒーストア。高品質のアラビカ種コーヒー豆から抽出したエスプレッソがベースのバラエティ豊かなエスプレッソドリンクやペストリー、サンドイッチをお楽しみいただけます。

